

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	美咲町立旭小学校	実践者名	柴田 奈保
教科等	総合的な学習の時間	学年	第6学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
育成したい 資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題状況の中から課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。(課題設定) ・地域の方や資料、インターネット等から必要な情報を集める。(情報収集) ・課題解決を目指して事象を比較したり関連付けたりしながら整理・分析する。(整理・分析) ・目的や相手に応じて、判断したことを、伝え方を工夫しながらまとめ、表現する。(まとめ・表現) 		
単元・内容等	旭の今と未来を考える～私たちにもできること～		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	総合的な学習の時間を中心に、検索や発表スライド作成等に端末を活用している。使用頻度は、週1回～3回程度使用している。		
活用の概要 (使用アプリ名を含む)			
<p>(1) 旭の今と未来について考えていく課題を決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町のホームページで美咲町の人口(トップページ下部)や小規模多機能自治(Web 広報みさき 2021年1月号P14)について調べ、課題を決める。 <p>(2) 旭の今を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町役場、まちづくり協議会の方から旭地域の現状(人口、取組、願い等)や課題、改善に向けて取り組んでいること(小規模多機能自治の取組)について話を聞く。 ・空き家の清掃に実際に参加したり、自治会長から空き家清掃の目的と課題について話を聞いたりする。 <p>(3) 自分達にできそうな小規模多機能自治の取組(空き家の清掃・商品の提案・イベント企画・地域活動への参加等)を考えて提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組を考え、計画を立てる。提案する取組例 ・グループごとに提案に向けて、情報収集する。 ・旭地域の空き家で可能な提案になっているか話し合う。 <p>(4) 調べたことをまとめて、発表する(使用アプリ:スライド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの使い方やスライドの構成を確認する。 ・調べた情報を整理し、スライドにまとめる。 ・発表の練習をする。 ・発表を聞いてもらいたい人を招待し発表する。 (美咲町役場地域未来課、旭支所、まちづくり協議会、自治会長等) <p>(5) 振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して自分たちの取組を振り返り、成果と課題を確認する。 成果: 地域の方が自分たちの提案を聞いて、地域の取組の一部として検討してくれた。 課題: 提案内容が自分たちの実践には繋がらなかった。 実現可能な提案になっていないこともあった。 			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
<p>児童が自分たちから伝えたいと考え、資料づくりに取り組むことで、主体的に学習に取り組めた。</p> <p>発表資料づくりでは、スライドを使うことで、児童は他の児童の活動の状況も同時に把握でき、お互いにアドバイスをしたり相談したりしながら作ることができた。</p>		<p>(児童の振り返りから)</p> <p>「地域の方に自分たちの提案を聞いてもらうことができ、うれしかった。」</p> <p>「聞いていただいた方から自分たちの提案を認めてもらうことができたので達成感があった。自信につながった。」</p> <p>「少しずつタブレットの機能が使いこなせるようになり、スライドの完成度を高めることができた。」</p>	

